

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

部局名	企画政策部	部局長名	永田 一廣
-----	-------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	1 3 . 2 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		5 2 人	2 0 人	7 2 人

①部局の使命 (組織の存在価値)	総合計画の「” 地域力” が奏でる” 都市力” の創出」を基本に、協働・参画（市民が主役のまちづくり）の視点からは、「市民との協働改革の推進」、「市民広聴の拡充」や、「スピーディで質の高い行政サービスの提供」を、また、活力（活力と豊かさを感じるまちづくり）の視点からは、「活力ある都市力の創造」、「次世代に引き継ぐ地域力の創出」や「集落再生活動の支援」をそれぞれ重点項目とし施策を進める。 また、川内原子力発電所 3 号機増設申入れに関しては、議会の審議、国による第一次公開ヒアリングなど、市民意見の適切な把握に努める。 さらに、広聴及び広報活動の充実により、開かれた市政を実現する。	②組織目標像	【施策の目標像】 (1) 効果的なシティセールスと相俟って、定住・交流人口の施策が成果を挙げている。 (2) 市民との共生協働社会が構築されている。 (3) 過疎・高齢化問題等への適切な施策により、元気な「ゴールド集落」となっている。 (4) 広聴広報の機能充実により、開かれた市政となっている。 【組織の目標像】 (1) 市民本位のサービス改革に果敢に挑戦する職員・職場となっている。 (2) 職員それぞれがシンクタンクを形成し、説明責任を果たすことができている。 (3) 部内・課内の応援体制、グループ制などにより、市民ニーズや行政課題に迅速・柔軟に対応できる組織となっている。
---------------------	---	--------	--

平成 2 2 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標（めざそう値）	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況（年度中間）		⑧年度末の達成状況	
地域力創造 【企画政策課】	(1)地域力創造フォーラムの開催 ・本市のまちづくりを広く市内外にアピール	①実効性を高めるため運営委員会方式により開催	○	①運営委員会を設置し、フォーラム実施に向けた企画を検討中	○	①・まちづくりをテーマとしたフォーラムを開催（約650人参加） ・まちづくりへの関心の高まりなど良好な評価
地域再生 【企画政策課】 【コミュニティ課】	(1)「地域力創造プログラム」の推進 ・ゴールド集落支援の推進	①ゴールド集落支援事業のプログラムへの登載 ②ゴールド集落支援補助の活	○	①ゴールド集落支援事業の登載について見直しを検討 ②ゴールド集落活性化事業補	○	①・各種ゴールド集落活性化事業によりゴールド集落を支援

①・まちづくりをテーマとしたフォーラムを開催（約 650 人参加）
・まちづくりへの関心の高まりなど良好な評価

①・各種ゴールド集落活性化事業によりゴールド集落を支援

平成22年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

		用促進	助金を活用し、ゴールド集落の活性化を支援中	・プログラム掲載事業及びゴールド集落支援事業の進捗管理を実施 ②ゴールド集落活性化事業補助金の活用事例を紹介し、次年度以降の活用を周知
甑島の振興・活性化 【企画政策課】	(1)甑島のセールス ・地域おこし・交流人口の増加	①甑島セールス ②こしきアイランドキャンパス ③こしきの恵・食の祭典 ④長目の浜地域指定可能性の調査研究（継続） ⑤藺牟田瀬戸架橋の建設促進	○ ①甑島セールス ・第6回関西かごしまファンデー参加済（京セラドーム：5/23） ②こしきアイランドキャンパス4大学参加（4事業） ・鹿児島純心女子大学 ・鹿児島国際大学 ・熊本大学 ・姫路獨協大学 ③こしきの恵・食の祭典 ・上甑支所管内で開催済（10/30～31） ④長目の浜地域指定可能性の調査研究（継続） ・ウバメガシ群落起源調査を実施 ⑤藺牟田瀬戸架橋の建設促進要望実施済 ・九州地方整備局（8/10） ・鹿児島県（8/23）	○ ①・第6回関西かごしまファンデー参加（京セラドーム：5/23） ・「薩摩川内まるごとフェア in 福岡」参加（福岡市役所広場：11/5～7） ・第9回グルメ&ダイニングスタイルショー春2011参加（東京ビッグサイト：2/1～4） ②4大学参加（4事業） ・鹿児島純心女子大学 ・鹿児島国際大学 ・熊本大学 ・姫路獨協大学 ③上甑支所管内で開催（10/30～31）
				④・ウバメガシ群落起源調査を実施 ・集落談話会開催（1/15：里公民館，上甑老人福祉センター，瀬上集会所，58名参加） ⑤・九州地方整備局（8/10） ・鹿児島県（8/23）

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

定住・交流による地域躍動 【企画政策課】	(1)定住・交流人口の増加 ・定住目標：200 人 ・よかまち・きやんせ倶楽部 会員を 1,800 名に	①定住促進補助金（住宅の取得・リフォーム，新幹線通勤）の制度見直し ②よかまち・きやんせ倶楽部による情報発信・相談 ③余暇処交流・よかまち体感事業の実施	○	①執行会議で H23～25 年度制度案を審議・決定 ・定住補助利用転入者数 ・住宅取得補助 120 名 ・リフォーム補助 27 名 ・新幹線補助 24 名 ②情報発信・相談等を実施 ・倶楽部通信 3 回発行 ・メールマガジン 7 回発行 ・問合せ・相談 559 件 ・新規登録会員数 61 名 ③余暇処交流事業の募集を 2 回実施（応募なし）	○	①平成 23～25 年度における新たな定住促進補助金制度を決定（既存制度の拡充及び新規制度を創設） ・定住補助利用転入者数 住宅取得補助 177 名 リフォーム補助 42 名 ・新幹線補助利用者数 30 名 ②情報発信・相談等を実施 ・倶楽部通信 4 回発行 ・メールマガジン 12 回発行 ・問合せ・相談 863 件 ・新規登録会員数 143 名 ③余暇処交流事業の募集を 2 回実施（応募なし）
川内原電の安全運転確保と 3 号機増設申入れ対応 【原子力対策課】	(1) 1・2 号機の安全運転確保	①安全協定の厳正運用	○	①安全協定に基づく九州電力(株)からの報告等の確認及び市議会への主要事項処理経過報告など，厳正かつ適正に協定を運用	○	①福島原子力発電所事故により緊急安全対策等が実施されることとなり，今後，中長期的な対応策が示される予定
	(2) 3 号機増設申入れ対応	①市民意見の適切な把握	○	①公開ヒアリング（5/18）及び市議会審議等を経て，3 号機増設受入れの同意を表明（6/7）	□	①・重要電源開発地点指定を経て平成 23 年 1 月 12 日九州電力(株)が原子炉設置変更許可申請を提出 ・福島原子力発電所事故により，今後の国のエネルギー政策等の見直しに即して対応

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

市政改革大綱の推進 【行政改革推進課】	(1)改革アクションプラン年度計画の達成	①前年度計画の進捗調査・公表 ②年度計画の策定・公表 ③上半期進捗状況の調査・公表	○	①前年度計画の進捗状況報告・公表(5/7) ②年度計画の策定・公表(6/22)	○	③上半期進捗状況の調査・公表(11/11)
組織見直しの継続 【行政改革推進課】	(1)スピーディで質の高い行政サービスを提供できる組織の構築	①職員1,100名体制への段階的組織の構築 ②長期的な組織の在り方の検討	○	①平成23年度組織・機構の見直しについて、行政組織検討会議で協議 ②行政組織検討会議で協議開始	○	①・平成23年度組織・機構見直し実施（市民福祉部の再編等） ・支所産業建設課及び教育課の拠点化については見送り。 ②7～11月で4回開催
公有財産の利活用 【行政改革推進課】	(1)財産仕分けの年度計画達成	①財産仕分けの進捗管理	○	①公有財産利活用基本方針及び財産仕分けについて、職員説明会を実施（8/25）	△	①初年度財産仕分け（普通財産）のうち一次評価を実施
事務の改善・合理化 【行政改革推進課】	(1)業務プロセス見直しによるスピーディな行政サービスの提供	①事務事業の見直し ②事務事業評価（事業仕分け）の実施 ③申請、許認可事務の改善・短縮化	□	①業務マニュアルの見直しを各課に指示 ②事業仕分けを再検討 ③各課に対し改善・短縮の指示及び見直し状況調査を実施	□	①業務マニュアルの更新と人事異動時引継等の活用通知 ②事業仕分けの再検討の結果、事務事業の棚卸しを実施（3/31完了）
共生・協働の推進 【コミュニティ課】	(1)地区コミュニティ協議会等との協働・自立促進	①地区振興計画掲載事業の支援 ②自治会未加入者の加入促進 ③自治会再編（合併）への対応	○	①支援対象事業は適宜支援中 ②自治会加入促進懇話会を設置し、自治会加入促進策について協議・検討中 ③自治会再編協議会補助金の交付など、自治会合併に係る協議を支援中	○	①国・県等の支援事業等の周知も積極的に実施 ②・未加入者へのアンケートを実施 ・加入促進方策として自治会加入促進のために、窓口臨時職員を配置（4/1～） ③再編に係る諸問題等を抱える自治会については、直接出向き説明を実施

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

	(2)特設防犯灯の設置	①年次計画により設置 ・ H22 年度 100 基設置	△	①対象の小中学校・コミュニティ協議会等からの設置申請を受け、防犯灯設置工事の発注準備を推進中	○	①防犯灯 100 基を設置
	(3)地区コミセンの整備等 ・年度内の工事等の完了	亀山地区コミセンの新築 事務室拡張工事＝2 件 セントピア運動場広場植栽 工事 パソコンの更新入替え	○	亀山地区コミセンは、7 月に着工、年度内の工事完了予定 (H23. 2 月末)	○	2 月末に完成し、引き渡し が完了 (3/10) 事務室拡張工事、植栽工 事、コミ主事のパソコンの更 新も終了
生涯学習の推進 【コミュニティ課】	(1)市民の主体的な学習活動の推進	①生涯学習計画登載事業の実施 ②出前講座の実施 ③フェスティバルの開催	○	①地区コミュニティ協議会を中心 に実施中 ②地区コミや自治会 P T A を 中心に実施中 ③甌地域 ： 11/ 7 里町で開催済 本土地域 ： 2/26・27 開催に向け、準 備中	○	①地区コミュニティ協議会 を中心 に実施 ②本年度は特に、自治会に 関する出前講座を積極的 に展開 ③甌地域は里町で開催 本土地域も盛大に開催
男女共同参画の推進 【コミュニティ課】	(1)男女共同参画社会実現に向 けての意識の醸成	①男女共同参画推進計画登載 事業の中間見直し及び実施 ②女性 50 人委員会による政策 提言 ③男女共同参画フォーラムの 開催 ④男女共同参画基礎講座の開 催	○	①市民意識調査アンケートの 結果分析の実施 ②第 3 期女性 50 人委員会提言 の提出 ③12/4 フォーラム開催に向 けて実行委員会を開催 ④出前講座 7 件実施 (10 件実 施予定)	○	①アンケートを分析し、次 年度の見直しに向けて準 備中 ③提言提出後の関係各課へ の進捗状況提出を依頼 し、検証を実施 ③12/4 フォーラム開催 ④出前講座 (24 件実施)

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

情報格差の是正等 【情報政策課】	(1)地上デジタル放送難視聴地域の解消	補助制度の普及・啓発	△	・新たな難視地区において地元説明会の実施及び各家庭へのチラシ配布 ・2共聴組合について国への補助金申請済	△	①新たな難視地区において地元説明会の実施及び各家庭へのチラシ配布 ②「あと1年・地上デジタル放送」を広報紙に掲載 ③2共聴組合について改修完了 ④1組合について平成23年度補助金1次要望提出済
基幹系システムの再構築 【情報政策課】	(1)事業の推進, スケジュールの徹底管理	①システムの選定・調達・契約 ②仕様内容の協議・確定 ③データ整備・移行	○	新基幹系システム選定を終え, 仕様・機能の確認及びデータ整備中	○	設計フェーズの仕様・機能の確認, データ整備・移行の作業着手
電算業務の運営管理 【情報政策課】	(1)ホスト機器の入替え(安全な入替作業の徹底)	①ホストの環境設定, システム構築 ②新旧システムの動作確認	○	計画的かつ確実にホスト更新を行い, 完了	○	上期で終了
	(2)仮想化環境への移行(効率的環境づくりの徹底)	①仮想化の実証・確認(一次) ②対象システムの拡張(二次) ③仮想化の年次計画の策定	○	個別システムの統合化・仮想化の実証を終え, 対象システムを順次, 仮想化	○	対象システムの仮想化完了及び平成23年度以降の計画・予算化
	(3)電算業務の安心・安全な運営・オペレーション, プログラム修正ミスゼロ運動の徹底	①出力項目点検チェック調書による原課との二重チェック	○	原課及び情報政策課でのチェックにより, ミス発生防止を推進中	○	原課及び情報政策課でのチェックにより, 住民等に大きな影響を与えるミスの発生はなし
広聴広報の機能充実 【広報室】	(1)まちづくり懇話会の開催 ・10月までに6地域で開催(水引中校区, 樋脇, 入来, 東郷, 祁答院, 鹿島・下甕地域) (2)市政モニター制度の活用	①各地区コミの振興構想を広聴 ②市民生活に密着したアンケート調査を実施(4回)	○	①まちづくり懇話会 ・9月末までに3地域で開催(東郷, 祁答院, 樋脇) ・残り3地域も年内開催予定(入来, 鹿島・下甕, 水引) ②市政モニター制度 ・情報提供に関するアンケート調査を実施	○	①まちづくり懇話会 ・11月末までに6地域で開催(東郷, 祁答院, 樋脇, 入来, 下甕・鹿島, 水引) ②市政モニター制度 ・アンケート調査を4回実施

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

⑦年度中間総括	年度当初の口蹄疫蔓延のため、会議・行事等の延期・中止により一部事務事業が影響を受けたが、下記の点を除き概ね順調に執行できた。 ① 事務事業評価（事業仕分け）については、その手法等をめぐり庁内合意がとれず今後の進め方を模索していること。 ② 地デジ放送移行に係る事務について市としては適正に対応しているところであるが、国の予算措置・技術支援体制が不十分なことから遅れ気味であること。 また、市政課題の進展等により、新たに下記項目の事業推進を図る必要がある。 ●複合拠点施設等に係る可能性調査の実施 ●3号機増設に伴う電源交付金の交付に向けた県との協議・調整 ●3号機増設に関連する地域振興施策の検討（立地地元を含む）
⑨年度末総括	《企画政策課》 ・まちづくり、地域づくりをテーマとした「まちのチカラ創造フォーラム」を開催し、約650人の参加をいただき、まちづくり等への関心の高まりを感じた。今後も市民主体のまちづくりに向け、運営委員会を中心とし、経済、環境、防災等幅広いテーマから検討を行い実施したい。 ・大都市圏において甑島のPRを行い、水産加工品の流通販売の確保や観光交流人口の増大等を図るとともに、長目の浜のラムサール条約指定に向けた調査や集落談話会などを実施した。今後もシティセールス等を推進しながら、甑島の振興・発展に努めていく。 ・新たな定住促進制度は、転入誘導策としての補助金制度を強化するため、定年退職者を視野に入れつつ子育て世代を重点的な対象として位置付け、既存制度の拡充及び新規制度を創設したところであり、今後も定住支援センターによる情報発信を積極的に展開し定住対策を推進する。 《原子力対策課》 ・福島原子力発電所の事故については、現在事故収束に向けた取組みがなされ、今後、原因究明等が行われると考える。当面の対応としては、国において、現在運転中の原子力発電所の緊急安全対策の実施指示がなされた。今後、中長期的な抜本対策の指示及び安全審査指針等の見直しをはじめ、国におけるエネルギー政策全体の議論・見直しが予想されるため、今後の国の動向に係る情報収集を強化したい。 ・なお、3号機に係る電源交付金の県との協議及び地域振興策の検討については、福島原子力発電所事故の進展状況及び関連する国の動向を見極めながら行うこととしたい。 《行政改革推進課》 ・支所の再編については、議会から「将来の本庁・支所の在り方を示すべき」との意見をいただき、平成23年度、組織再編方針（案）の策定に向けて取り組む。 ・事業仕分けについては、再検討した結果、平成22年度においては事務事業の棚卸しを実施し、平成23年度外部委員による事務事業評価を実施する。

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

《コミュニティ課》

- ・ 亀山地区コミュニティセンターの完成をはじめ、施設補修等については計画どおり実施した。
- ・ ゴールド集落支援事業や自治会加入促進事業等、共生・協働に向けた事業については、平成 23 年度も引き続き利用拡大に向けて周知徹底を図る。
- ・ 生涯学習の更なる推進を図るために、平成 23 年度のワーキングチーム設置に向け準備を進めている。
- ・ 第 3 期 50 人女性委員会の提言提出及び関係各課への依頼・回答集約を実施した。

《情報政策課》

- ・ 地デジ放送移行に係る事務については適正に対応しているが、新たな難視地区の増加による国（デジサポ）の技術支援が遅れ気味である。

《広報室》

- ・ 口蹄疫の関係で、スケジュールを一部延期したが、概ね計画どおりに遂行できた。